MATERIALITY

グループ重点戦略/マテリアリティ

今回ビジョンでは、2035年のありたい姿として「エネル ギーから未来を拓く~九州とともに、そして世界へ~ | を掲 げました。この実現に向けては、"事業"と"基盤"の両面か ら価値創出に取り組んでいく必要があります。

この観点から、今回ビジョンにおいては、当社グループが 対応すべき経営課題として6つのグループ重点戦略を策定 しました。

また、「経営ビジョン2035」の策定・公表にあたり、従来 は別の枠組みで定義していた「マテリアリティ」についても、 ビジョンにおけるグループ重点戦略と一体のものとして整理 しました。

今後はこのグループ重点戦略・マテリアリティのもと、「経 営ビジョン2035 やサステナビリティ経営の実現に向けて、 九電グループの従業員一人ひとりが主役となって取り組ん でいきます。

企業価値向上モデル



ありたい姿の実現に向けた 6つのグループ重点戦略

カーボンマイナスへの 挑戦

> 「電源の低・脱炭素化」と 「電化の推進」を柱として、 カーボンマイナスに向けた 取組みを加速します

多様なニーズを叶える ソリューション進化

変化するお客さまのニーズを叶えるため、 プラットフォーム型ビジネス等の サービス領域を拡大・進化させます

地域共創による 価値創造と成長

地域社会と九電グループ双方の 更なる成長・発展に向け、 社会・経済価値を同時創出する 地域共創の取組みを推進します

事業を通じた 経済価値・ 社会価値創出

価値創出に向けた 人的資本経営

個人の思い(Will)と 九電グループのビジョンを結び付け、 人と組織が共に成長しながら価値創出に

つなげていく人的資本経営を推進します

企業変革をリードする DX推進

デジタル技術を最大限活用し、 生産性向上や業務プロセスの効率化・ 高度化・自動化を推進します

革新と成長を支える ガバナンス強化

各事業の自律的な経営を加速するとともに、 事業ポートフォリオ管理を高度化し、 グループ全体の資本効率を向上させます

経営基盤の 更なる強化